

コース 19 きそこまがたけ 木曾駒ヶ岳

リーダー CL N/S SL E/S
 実施日 平成26年7月13日(日) 14日(月)
 天候 曇り、霧、雨、強風
 参加者 25(男性 5 女性20)
 グレード C~C上
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
13日秋葉区役所前		5:00	新津駅西口経由 駒ヶ根IC
菅の台BS	9:30	9:45	登山準備を済ませ団体バスでしらび平駅へ
千畳敷山頂駅 2,612m	10:56	12:15	12°C、71% ガスと雨風が強く、駅舎内で早朝食。
八丁坂分岐点	12:38	12:38	軽アイゼンを付け雪道を登る。
乗越浄土	13:29	13:29	雨風が更に強まり、視界3m。
宝剣山荘 2,870m 宿泊	13:35		明日のコース、ハチ談話などで盛り上がる。
14日 宝剣山荘		8:20	今朝も濃霧、☂、強風。駒ヶ岳を断念、下山。
乗越浄土	8:28	8:28	イチゲなどの花を見ながら慎重に下る。
千畳敷山頂駅	9:35	10:00	カール入口に蕾のクロユリ
露天こぶしの湯	11:10	13:00	温泉入浴と昼食。生ビールの美味しいこと。
秋葉区役所前	17:50		予定より4時間早く到着

山行等概要(幹事のコメント)

- 2日前の天気予報では、☀のマークで気合が入る。前日予報で、13日：☁または霧のち☂。14日：☂のち☀。行けると判断し実施した。「木曾駒ヶ岳と三ノ沢岳」が「木曾駒ヶ岳」となってしまった。しかも、山頂まで行けず。散々の山行となってしまった。けれども、全員無事に帰れて幸いでした。みなさんのお陰です。ありがとう!!
- 予定時間に千畳敷駅に着くと、濃霧と雨風が強く、登山出来る状況ではなかった。最新情報を入手しながら、待機状態であった。SLと下歩きし行けることを確認し、また天候がもっと悪くなる情報を入手。早目の強行登山を実施することにした。
- 駒ヶ岳神社先の遊歩道に、狸々袴が雪溶けの岩場で出迎えてくれた。お目当ての宝剣岳はおろかカールでは見通しが利かず、雪で覆われていた。
- SLを先頭に完全装備で一歩一歩確実に足元を確かめ雪面、花崗岩石を踏みしめながら、隊列を組んで登る。視界は利かず、☂。強風ではあったが、救いは追い風であったこと。
- 宝剣山荘にやっとの思いで到着する。私の歩数計は3,000歩に満たない。このような山行は初めてであった。けれども、考えさせられた山行であった。
- 遭難しかかった人の話を聞き、教訓①分岐は道標を確認②道迷いは戻ること③地形図と磁石必携④単独行動は慎む。今日の悪天候で2組が小屋の救助員に誘導され、助かりました。



2014.7.13-14. 木曾駒ヶ岳

初の試みです。「NHC メール仲間」から写真返信メール文を掲載しました。

「一步一步」 (237)R/H

写真ありがとうございました。

今回は悪天候の中だったので写真はほとんど写さず強風に飛ばされないように、怪我をしないようにと必死に足元を見ながら一步一步足を進め、無事に宝剣山荘に着いた時にはほっとしました。



三の沢岳、木曾駒ヶ岳山頂登頂はできませんでしたがあのお天気の状態では仕方のないことだったと思っています。

皆さん怪我もなく無事に下山できたことはなによりでした。

写真沢山送ってくださりとても記念になります。

幹事さんは今回のような時の決断をくださるのにはたいへん悩んだことだと御察いたします。

本当にご苦労様でした。感謝いたします。笙ヶ岳登山もよろしく願います。今度はお天気になりますように～



「想定外」 (696)R/K

お早うございます。

木曾駒お疲れ様でした。

想定外のこともあります。

これ以上危ないことはできません。笙ヶ岳お天気晴れることを祈ってます。



「暴風の中の花たち」 (834)Y/S

写真ありがとうございました。

カメラを取り出す余裕がなかったので、暴風の中の様子や花たちの写真忘れられない山行の記念になりました。



荒天のリーダーは心配が大変ですね。遭難しそうな人もいてなおさらです。

二日目はもっとましな天気になると思っていました。

何年前か前尾瀬の温泉小屋まで歩いた時も雷と雨でしたが、今回の方が風はすごかったです。



でも、雨具も山頂駅で着けられたのはラッキーでした。お世話になりました。又、よろしく願います。



目前で宝剣山荘を見つけ、やっと到着

「山の怖さを身近に」 (791)Y/A

こんばんは
木曽駒では大変お世話になりました。



荒れた天気の中、皆を引っ張ってくださり
本当にありがとうございました。
わたし達の後に小屋にたどり着いた一人の男性は、
強風と、雨、霧で道に迷い
命に関わる体験を、身をもって語って下さいまし
た。

その後やってき
た、ガタガタ震え
る小さな子供を連
れ、びしょ濡れで
やっとのおもい
で、
小屋にたどり着い
た若いお父さん
(いずれも小屋の
ご主人が当人たち
を助けて現場まで
迎えに行ってくら



オットセイ岩

れたのです) この人達を
目の当たりにして山の怖さを身近に感じた今回の
木曽駒は大変良い体験をさせていただきました。今
後の勉強になりました。



山小屋で皆と飲んだビー
ルの美味しかったこと。い
ろんな話が飛び出して
有意義な時間を過ごすこと
が出来ました。

帰りのお風呂タイムも十分楽しむことができました。
本当にありがとうございました。

写真いっぱい、送って下さりありがとうございます。

ツガザクラも可愛く撮
られていて.....
一枚も撮ることができ
なかった私は大変嬉し
いです。
ありがとうございました。



今後ともよろしく願いいたします。

「貴重な体験」 (1428)S/I

先日は大変お世話になりました。
早速の写真ありがとうございます。



悪天候が思い出されま
す。
私にとっては今回の行
動すべてが貴重な経験
となり今後の登山に生
かされることと思いま
す。
次回もよろしく願い
いたします---晴れるこ
とを祈ってます。



「木曾駒ヶ岳と三ノ沢岳」に参加して
(1614)T/M

先日はお世話になりました。

写真ありがとうございました。

山は晴れることが一番ですが、山の厳しさを感じる
ことができた充実した山行でした。

感想をまとめたので、送ります。



私の登山の楽しみの一つに、帰宅後、山の写真を
編集しお気に入りの音楽を入れ動画にすること
です。



「今回は、動画作成は無
理だし、山行の記録と思
い出にしよう」と投稿し
ました。

1日目はしらび平のロー

プウェイ駅に着くころから雨。

コースを変更し今日は宝剣山荘までに。

千畳敷駅から先は霧と雨、強風に飛ばされないよう
に足元を見つめ慎重に歩く。

周りの景色も見えず、写真を撮る余裕はなく目の前
に咲く花を眺めるだけでした。

予定が変更になりましたが、参加者と親睦の時間が
たくさんあり新人の私にとってハイキングクラブの
皆さんと話すことができ、温かい雰囲気を感じること
ができました。

このような天候で宝剣山荘に宿泊した2グループの
人達から、小屋から上の大変な経験も聞くことがで
きました。



「明日は雨と風がやんで
欲しい」という思いで床
に就きます。

二日目も天気は芳しくな
くこのまま宝剣山荘から
下山すると決定。

「山は頂上を踏むこと以上に、無事に帰宅できるこ
とが一番」との想いで下山しました。

下りに霧の中でオットセイ岩が見えたときは嬉しく
て、カメラを取り出しシャッター切りました。

簡単に高い所まで運んでもらえる山ですが、300
0m近い山で久しぶりの泊りの山。

私自身はこの山行でいく
つか反省することがあ
り、刺激も？もらいま
した。

晴れの日帰り登山ばかり
に慣れ、雨対策も自分なりに考えて行ったつもりで
したが、パッキングや装備など忘れていたことも沢
山ありました。

一番は、新しい靴と右のアイゼンが合わず、すぐに
外れたことです。

雪渓は踏跡もあり危険状態ではなく無事登山がで
きましたが、こんな状況では三ノ沢岳には登れなかつ
たかもしれません。

迷いながら「新しい靴は雨が沁みない」と選びまし
たが、帰宅後、乾燥させたアイゼンと靴を改めて調
整してみました。

「固定するだけでなくコンクリートの道でも歩いて
みるべきだった」と反省
しています。

天気が悪く、ご苦労が多
かった担当幹事さんサブ
リーダーさんに感謝しま
す。

歩いた歩数はわずかでしたが沢山の経験と思い出が
詰まった、楽しい山行でした。

入会して2年目の私ですが、帰宅後今度はどこに参
加しようかと思いを巡らせています。

皆さんにお世話になりました。

